

# こんにちは！

# 井本

# ゆういちです



## 一般質問の概要

**本市の地域拠点となる JR 布施屋駅や JR 宮前駅に駅舎やトイレが無い  
これで、日常生活機能の充実をはかる拠点となるのか**

JR 和歌山線布施屋駅ではトイレやホームの屋根が撤去され、JR きのくに線宮前駅では駅舎やトイレがありません。しかし、和歌山市が作った地域公共交通網形成計画では、JR 和歌山駅や市役所などの中心拠点とともに JR 布施屋駅や JR 宮前駅周辺を地域拠点とさだめ、地域の特性に応じて、生活サービス、居住、交通ネットワークなど日常生活機能の充実をはかる構想を描いています。

問：地域拠点において、日常生活機能を充実させ、交通ネットワーク機能を向上させていくために、市として待合施設やトイレなどの設置について取組んでいくべきではないか。

都市建設局長：駅構内の待合施設やトイレなどは駅利用者の利便性向上のために設置するものであり、それを所有する鉄道事業者が実施するものとする。

## 紀伊中ノ島駅でも、駅舎やトイレの撤去が計画されている。

地域拠点としての鉄道駅は、駅周辺のまちづくりという観点で考えていただきたい。また、JR 紀勢本線では、和歌山県内56駅のうち、駅前の公園に自治体がトイレを設置するなど JR 以外が設置、管理するトイレが6割以上を占めています。いろいろな可能性を求めて取り組んでいただきたい。

今後 JR 阪和線中ノ島駅でも同様に、木造駅やトイレの撤去、ホーム屋根の撤去が計画されています。

市民の人権を守り、和歌山市の文化をつかっていくという観点で交通政策に取り組んでいただきたい。

## 新型コロナの影響で減った客足が戻らず、物価高騰が加わり、暮らしと営業を直撃

市内の繁華街では、コロナ自粛で客足が戻らず、店の家賃の支払いのため、副業を掛け持ち

議員歴：1期4年  
今議会での委員：総務委員会副委員長、地震等災害対策特別委員  
趣味：バイク、ドローン  
抱負等：公共交通や市営住宅など身近な問題を取り上げてきました。生活相談活動を通じて寄せられる声を、議会に届けて頑張ります。

してしのいでいる方がいます。また、借入金を借り入れたお店が、いよいよ返済の時期がきています。本市では、昨年度に事業支援金、今年度に事業再構築支援補助金という形で取組まれてきましたが、これらの支援策を含め、国や県の支援策が終結してきているということです。このままでは廃業するしかないという事業者が何店舗もあります。今後も倒産や休廃業が増加するおそれがある中、このままではいいとは思えません。

問：市の事業者支援金は昨年度で終了してしましますが、なぜ終了したのですか。再び実施してほしいですが、市の考えはありますか。

産業交流局長：今年度に入って政府や県による行動制限がなされることなく、経済情勢報告でも総括判断として持ち直しているとの判断が続いていることなどから、本市の事業者支援については、売上減少事業者への一律の支援策から転換することとしました。本年度は、事業継続に向けての新分野展開や業態転換を促す事業再構築支援を進めています。

## 厳しい夜の街の状況に対して、新分野展開や業態転換と言わず、コロナ前の客足が戻るのを見届けるまで事業者支援策を講じていただきたい。

市内の倒産件数などの数字から見ても、貸付

金の返済などにより、まだ倒産や廃業のおそれがあります。スナックや居酒屋など実際に客足が戻っていないのが実態です。

市内のあるラーメン屋の店主は「今までドルショックやオイルショックといった不景気はあったが、こんな3年間も続くような不景気はなかった。不景気には波があっても底に沈んでもまた上がってくるという感じできたものだが、バブル崩壊後、消費税の引き上げのたびにお客さんの足が遠のいて、このコロナで本当にとどめを刺されたような状態になっている」と、訴えています。このような本当に厳しい夜の街の状況を、市としてしっかりと支えていただきたい。



## 井本ゆういち市議会だより

2023年2月

日本共産党和歌山市会議員団

TEL 435-1113 FAX 421-4181

ホームページ、Twitter、Instagramは、「日本共産党和歌山市議団」で検索を。日々の各議員活動報告等を掲載しています。



# 日本共産党市議会だより

## 12月定例市議会報告

<25 議案中 20 件に賛成、5 件に反対>  
12月2日(金)～12月22日(木)までの21日間を会期として開かれました。

初日は、2021年度決算認定が提案され可決・認定されました。日本共産党市会議員団は、中村あさと議員が問題点を指摘して反対しました。

最終日は、一般会計補正予算案や条例改正案、指定管理者の指定など議案23件、人事案件等5件のすべてが原案通り可決・同意されました。日本共産党市会議員団は、議案25件中20件に賛成。問題のある5件の議案については、ひめだ高宏議員が問題点を指摘し反対討論を行いました。

継続審査となっていた民主商工会からの請願第6号「所得税法56条の廃止を求める意見書の提出」については、共産党議員団のみ賛成で不採択となりました。

共産党議員団を含む全6会派の共同提案で「和歌山市議会の個人情報の保護に関する条例の制定」を可決しました。

## 2021年度決算認定への反対討論概要(中村あさと議員)

○地方税回収機構について、8万円台の滞納金を1件6万円+ほぼ同額の分担金を払って回収するなど、設立当初の100万円以上の滞納回収を目的としていたことから大きく踏み外して問題。○国民健康保険特別会計は、実質収支額35億円超の赤字であるのに市独自の減免制度を作るなどの努力が必要。○企業局会計では、六十谷水管橋崩落により水の運搬により圧迫骨折した方への補償は適応外とするなどの問題点を指摘し反対しました。

## 一般会計補正予算の増額(22億4,380万3,000円)を可決

## 議案への反対討論概要(ひめだ高宏議員)

### 議案審査の過程で予算訂正の事態に(議案第1号)

国庫補助金の計上において、内示額との乖離があるのではとの委員の指摘から、議会開会中に予算議案を訂正する事態になったことは問題です。また、市営住宅の管理を県住宅供給公社に委託することについて、入居希望者の要望を反映させ住み続けやすい市営住宅にするためにも市が直接管理することが必要だと考えますので反対です。

### 国主導で個人情報の「保護」から「利活用」の条例に(議案第9号)

和歌山市個人情報の保護に関する条例の制定については、これまで市が自ら定めてきた個人情報の保護のための条例を、国がデジタル化を進める一環として、あらゆる情報を一元管理し活用するために、個人情報の利活用を図ろうとするものであり、認められません。

### 市議会議員の期末手当引き上げ(議案第12号)

職員の勤勉手当の年間0.1か月引き上げに合わせて議員の期末手当を同様に引き上げるもので、コロナ禍と物価高騰に苦しむ市民の理解を得られるとは思えず、賛成できません。

### 農業及び漁業の集落排水事業の企業会計化(議案第14号)

集落排水事業は水洗化率を高め衛生管理をするなど生活環境の整備という観点から必要な事業です。一般会計から繰り入れが必要など、独立採算にはなじまず、企業会計化はさらに市民負担となることはハッキリしており反対です。

### 市営住宅は市が直接管理を(議案第20号)

議案1号で述べたように市が管理するべきであり、市営住宅の指定管理者指定については反対です。

出産・子育て応援交付金事業(4億7,722万5千円)、小学校の3学期分の給食費無償化事業(1億7,689万6千円)、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労事業(1億6,000万円)、省エネ家電買い替え促進事業(1億1,699万8千円)などの増額補正については賛成しました。

## 日本共産党市会議員団、他の5議員の一般質問



さかぐち多美子 議員  
厚生委員会副委員長  
広報委員

### 学童保育の拡充を

問：保護者から要望の多い「トイレが外」「グラウンドで遊べない」「おやつが駄菓子」の改善は早急に進めるべきだと思うがどうですか。

答：保護者の要望については、検討を行い、利用している児童が健やかに育つことができる運営に努めます。

### マイナンバーカードの強制取得は許せない

問：カードを持たない者は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねません。

答：市民の方が混乱なく保険診療を受けられるよう丁寧に説明してまいります。



ひめだ高宏 議員  
総務委員・議会運営委員  
I R誘致に関する特別委員

### 大学生を排除する生活保護制度の改善を

問：大学生だとどんなに困窮しても生活保護を受けられません。実態に応じた対応をするともに市から国に改善を求めるべきです。

答：生活保護受給者以外の方とのバランスを考慮してとした国の考え方に沿った対応をします。

### 大学生へ給付型奨学金や生活支援、食料支援を

問：経済的に困窮する大学生に市として支援が必要だと思います。

答：経済的に困窮して学業に専念できない状況は望ましくないため、大学にヒアリング等を行った上で必要に応じ検討していきます。



森下さち子 議員  
経済文教委員  
I R誘致に関する特別委員

### 家庭教育支援条例

問：本市制定当時(2017年)には分かっていなかった統一協会との関連性が全国的に問題になってきていることについて、どう考えますか。

答：もし、そのような団体からの働きかけがあったならば(条例を)提案していません。

### 動物愛護管理センター

問：殺処分ゼロの事業にボランティアの協力は不可欠だが、市との位置づけを明確にし、市民からの信頼を得られるようにするべきではないですか。

答：どの団体とも適切な関係を保ちながら協力する必要があると考えます。



中村あさと 議員  
建設企業委員・議会運営委員  
地震等災害対策特別委員・広報委員

### 小中学校の給食費を無償化に

問：給食費の無償化は、給食を教育の一環としてとらえ、子どもたちの発達に責任を持つ上で大切です。市の総予算の1%未満で実施できます。完全無償化にするべきではないですか。

答：非常に多額の財源を必要としますが、今後、県と連携しながら、無償化を早期に実現したい。

### 通級指導教室の増設を求める保護者の声

問：個別課題に向き合った教育環境のため通級指導教室を増設すべきではないですか。

答：継続して県教育委員会に要望していきます。



南畑さち代 議員  
建設企業委員

### 水道料金の市民負担軽減を

問：新水道事業ビジョンの中で水道料金の負担増が示されています。市民負担の軽減の取り組みの必要性について、市長の考えはどうか。

答：全国的に水道料金収入の減少と施設の老朽化等が深刻な問題となっています。引き続き補助対象事業となるよう国に要望していきます。

### インボイスで免税事業者は廃業の危機

問：国にインボイス制度は延期・廃止をと言うべきです。

答：本市として制度導入の延期や廃止を訴えていくものではありません。

和歌山城ホール屋上にて



撮影時のみマスクを外しています